

## 契約の箱

出エジプト記三十七章

ベツアルエルはアカシヤ材で箱を作った。その長さは二アンマ半、高さは一アンマ半であった。その内側も外側も純金で覆い、周囲に金の縁飾りを付けた。(1、2)

5/

神に選ばれたベツアルエルは、幕屋の中で最も大切なもの、すなわち契約の箱を作りました。この契約の箱の中には、マナを入れた金の壺、芽を出したアロンの杖、十戒が刻まれた二枚の石の板が入れられました。民はこの契約の箱を尊び、幕屋の最も奥にある至聖所に置き、荒野を旅する時にはこの箱をかつぐ祭司が先頭に進みました。契約の箱は、常に神の民の中心に置かれたのです。箱そのものが尊いわけではありません。その中に十戒を刻んだ二枚の板が入れられていたから尊いのです。神の言葉こそ、イスラエルの民がどこに進んでも、常に中心に置かれるべきであり、神の言葉に従って生きるところに神の民の祝福がありました。「新しい神の民」と呼ばれる教会に対しても同じことが勧められています。神は今日も、私たちが神の言葉を生活の中心に据えることを願っておられます。